

監督・脚本・主演 シルベスター・スタローン

ブリジット・ニールセン◆ドルフ・ラングレン

製作 アーウィン・ウインクラー/ロバート・チャートフ 製作総指揮 ジェームス・D・ブルベイカー/アーサー・コバニアン 撮影 ビル・バトラー◆音楽 ヴィンス・ティコーラ MGM/UA映画 ・・ UIP配給 ♥

VG3L000



シア・ギブ◆バトリック・スウェイズ◆エド・ローター◆監督ビーター・マークル MGM/UA映画。 UIP配給



'85年のクリスマス・シーズンに公開されるやいなや、全米を熱狂の歓声と拍手の嵐に巻き込み、3日間で3200万ドル(約60億円)の興収を上げるという驚異的な超ビッグヒット作となった「ロッキー4・炎の友情」が、遂に日本にも登場する/

ロッキーという、いわばシルベスター・スタローンの分身ともいえる一人のしがないボクサーをスクリーンに登場させることで、映画同様に現実でもアメリカン・ドリームを実証してみせた男、スタローン。スター不充気をいわれ続けたアメリカで、不遍の愛と勇気でいた、国民の熱狂的支持を受けて総なの言動を注視される大スターのチャンプとなった英雄、スタローン。その座を獲得する決定的契機となった作品が、この「ロッキー4・炎の友情」である。

かつては好適手であったが、今や心を分かちあう間柄となった親友アポロが、近化科学の粋を駆使して "戦闘マシーン" に作り上げられたソ連のポクサー、ドラゴによってリングで殺された。

妻や我が子を抱き、友とかたく握り合った 両手に拳に、たとえ命尽きても勝ち取らねば ならない愛と夢と友情の証を託し、ロッキー は敵地モスクワに乗り込んだ。

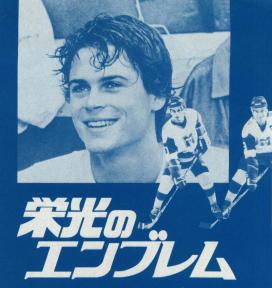
	h ¬
	【タッフ■
脚木, 贮权	・・シルベスター・スタローン
製作	…アーウイン・ウインクラー
<i>"</i>	・・・・・ロパート・チャートフ
製作総指揮	·ジェームス・D・ブルベイカー
"	アーサー・コバニアン
撮 影	・・・・・・・・・ドトラー
音 楽	ウィンス・ディコーラ
	Fャスト■
ロッキー	・・シルベスター・スタローン
エドリアン	・・・・・・・タリア・シャイア
ボーリイ・・・・・・・・・・・	バート・ヤング
7 19 7	カール・ウェザース
ラドミラー・・・・・・・・・・	…ブリジット・ニールセン
	ドルフ・ランドグレン
コロフ	・・・・・・マイケル・パタキ

全世界が見守る中、悲しみを怒りに換えた 孤独なボクサー、ロッキーとドラゴの、四角 いジャングルでのデスマッチが開始された。 それはアメリカとソ連という両大国の威信を 賭けた戦いでは決してなかった。ただ、愛と 夢と友情を勝ち取るための、ロッキーという 名の男の戦いだったのだ。

人気シリーズ第4弾も、前々作同様、スタローンが脚本・監督・主演の三役をこなしている。キャストも、ロッキーの妻にタリア・シャイアが扮している他、バート・ヤング、カール・ウェザースと、馴染みのメンバーが顔を揃えている。

シリーズ最大最強の敵ドラゴを演じるのはスウェーデン出身のドルフ・ランドグレン。キック・ボクシングで鍛えた見事な肉体は、戦闘マシーンにふさわしい迫力である。また、スタローンの現実の夫人であるブリジット・ニールセンも、敵陣営の一員として出演してるのも話題になっている。





ワイルドな魅力に彩られて、ニュースター、 ロブ・ロウ颯爽と登場!

フランシス・コッポラ監督の「アウトサイダー」で衝撃のデビューを飾ったロブ・ロウは、その甘いマスクに鋭敏なハガネのような肉体と野性味を新たに備え、さらにビッグになって登場する。

アチームだ。このチームにプロを目指す若者 ヤングブラッド(ロブ・ロウ)が加わる。こ こで彼は、友人と恋人と、素晴らしいコーチ を得ることになる。共にメジャーを狙い、良 きライバルでもあるサットン(パトリック・ スウェイズ)は試合においてはヤングブラッ ドと絶妙のコンビ・プレイを発揮する。彼ら を叱咤激励する鬼コーチ(エド・ローター) の猛練習に耐え、彼の娘ジェシー(シンシア ・ギブ)に安らぎを覚えるヤングブラッド。 その心にはプロへの期待が広がってくる。対 ボンバーズ戦。親友サットンが重戦車ラッキ に潰されてしまった。重態のサットンにヤン グブラッドはなす術もなく、チームを離れ、 単身田舎に帰ってしまう。しかし、そこで待 っていたのは、やはりアイスホッケーの選手 だった父と兄の厳しい態度であった。二人か らラフ・ファイトのコーチを受けるヤングブ

リーグの優勝を賭けた、因縁の対ボンバー ズ戦。ヤングブラッドは怒りを胸にチームに 戻ってきた。



